

ぐんまこどもの国児童会館

にこっと通信

今年もよろしく
お願い致します

nicotto tsu-sin!



にこっと
ちゃん

2023.1.15
第80号

発行/公益財団法人群馬県児童健全育成事業団



1/28 (土) 1/29 (日) わくわく恐竜パーク

動き出す!? 塗り絵 AR コーナー、ティラノサウルスコーナーなど恐竜をテーマにした楽しい体験ができます。

時間：9:30~11:30、13:00~16:00
(入場：各回終了15分前まで)

会場：多目的ホール

対象：どなたでも (未就学児は保護者同伴)

定員：各回60名 (時間中随時定員まで受付)



化石発掘コーナー

時間：上記時間中
会場：多目的ホール
対象：中学生以下
(未就学児は保護者同伴)
定員：各回50名
(随時定員まで受け入れ)

その他：汚れてもよい服装で。
軍手、マスク着用 (防塵のため)

スペースシアター

飛び出す 3D 恐竜 (20分) ★★
観覧料：無料
時間：10:00~、12:00~
14:00~、16:00~
対象：どなたでも
(未就学児は保護者同伴)

海竜王 モササウルス・星座解説無し (30分)
観覧料：大人 300 円、中学生以下無料
時間：11:00~、15:00~
対象：どなたでも
(未就学児は保護者同伴)

「にこっとちゃんとおそぼう」

ぐんまこどもの国児童会館のマスコットキャラクター「にこっとちゃん」と一緒にあそぼう! 小さい子どもも挑戦できる、じゃんけんゲームやクイズなどを開催します。
②の回は YouTube Live でも参加することができるよ。



開催日 2月11日(土)

時間 ① 11:40~12:10 (会場参加のみ)
② 14:10~14:40

(会場参加か YouTube Live での参加、どちらでも可)

会場 多目的ホール

対象 どなたでも (未就学児は保護者同伴)

定員 ①、②会場参加 先着30名

②YouTube Live 定員なし

その他 会場参加の方は、当日会場へお越しください。
YouTube Live 参加の方は、公式 YouTube チャンネル「にこっとちゃんねる」にアクセスしてください。

注)②の回は、YouTube Live にて Live 配信します。会場参加される方は、ご承知おきください。



にこっとちゃんねる

こども観劇会
人形劇団ゴニク公演

ある日、突然ワニが歌をうたいなからあらわれて町中は大騒ぎ! そのいでたちは洒落た服装に帽子、葉巻をブカブカ。勇ましいワーニャ坊やが立ち向かうと、ワニの言うことには…。楽しい名作絵本の人形劇です。

開催日 3月5日(日)

定員 100名(先着順)

時間 14:30~15:10
(受付は30分前から)

受付方法 事前申込。

会場 多目的ホール

対象 一般 (未就学児は保護者同伴)

1月25日(水)9:00から、
当館ホームページの専用フォームでお申し込みください。



申込専用フォーム



休館日	1月...10日(火)・11日(水)・16日(月)・23日(月)・30日(月)
	2月...6日(月)・13日(月)・14日(火)・20日(月)・27日(月)
	3月...6日(月)・13日(月)・20日(月)



ぐんまこどもの国児童会館

〒373-0054 群馬県太田市長手町480
TEL:0276(25)0055 FAX:0276(25)0059
HP: https://kodomonokuni.or.jp
Twitter: @nicottochan5

※次号は、令和5年4月15日(土)発行予定

★新型コロナウイルス感染防止のため、開館時間の変更や、入場制限また、記載情報についても変更になる場合がございます。最新の情報や詳細は、当館ホームページをご確認いただくか、事前にお問い合わせください。

親子で バランスボール



11月25日(金)に子育てママのいきいきタイム「親子でバランスボール」を開催しました。バランスボールインストラクターの相場 杏奈さんをお迎えし、おうちでも簡単にできるバランスボールを使った運動を教えてくださいました。

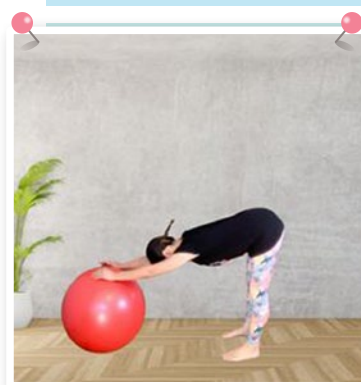
また、今回は子ども用のバランスボールも用意していただきました。お父さんお母さんがバランスボールを使っていると、子どもも真似して遊びやすいとのこと。自分でバランスボールに乗れない子どもは大人がお膝に乗せてチャレンジしても良いそうです。ただし非常にバランスが崩れやすいので、子どもが利用するときはそばについて注意して行うことも重要です。

皆さんもぜひ、親子一緒におうち時間でやってみましょう！

簡単にできるストレッチをご紹介します

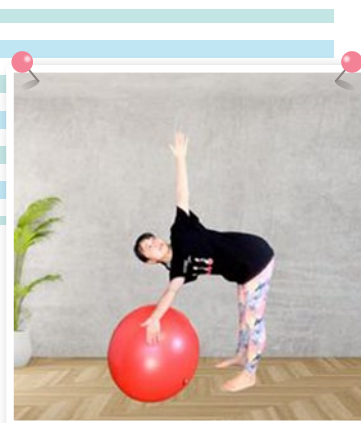
ボールダウンドッグ

- ① ボールを正面に置き立ちます。
- ② 両手はボールの上に置いた状態で、足幅をボール幅くらいに開きます。
- ③ 大きく息を吸って吐きながら、膝が曲がらないようにボールを前に転がしましょう。
- ④ お尻をプリッと突き出して、二の腕と二の腕の間に頭を入れ込んでいきます。
- ⑤ 足の裏側全体、背中が伸びているのを感じて、ご自身の心地よい場所を探してストレッチしていきましょう。
- ⑥ 息を吸いながら身体を起こします。

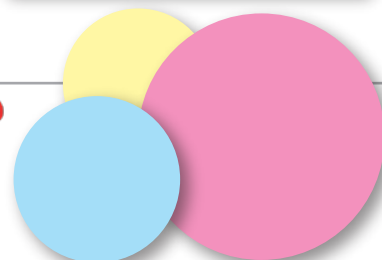


左右回転

- ① そのまま、右手の甲をボールの上に乗せます。
- ② 手を横にスライドさせて、反対側の手の指先を天井へ持ち上げていきます。
- ③ 視線は指先へ持っていきましょう。
- ④ 膝が曲がらないように注意していきましょう。
- ⑤ 反対側も同じように繰り返します。



子ども用のバランスボールは、大きさも様々で取っ手があるものなどもあります。年齢や体格に合わせて用意すると、子どもたちも「まねっこ」しながら体幹や筋力を鍛えられますね。



「みんなでオレンジリボンツリーを飾りつけよう」

～児童虐待防止推進月間の取組み～



オレンジリボンには未来を担う子どもたちが幸福になれるよう、子ども虐待のない社会を目指そうというメッセージがこめられています。

その起源は2004年、子どもが虐待によって命を奪われるという痛ましい事件が始まりました。二度とこのような事件が起こらないようにという願いをこめてオレンジリボン運動が始まりました。

しかし残念ながら、現在も子どもの虐待はなくなりません。国内での虐待による死亡事例は年間50件を超え、1週間に1人の子どもが命を落としています。

私たち一人ひとり、子どもの命を守ることが社会全体の責任であることを自覚して、子ども虐待のない社会を実現できればと強く思います。

当館でも毎年、児童虐待防止推進月間にあたる11月には「オレンジリボンツリーを飾りつけよう」と題して、オレンジの用紙に大人から子どもへのメッセージ、子どもから大人へ感謝の言葉等を書いてもらい、ツリーに飾りつけてもらっています。

一連の体験を通じ、互いに相手のことを考えて想いを巡らせることで、親子の絆をより深めるきっかけとなることや、普段は照れくさくて言葉にできない感謝の気持ちを伝えること、言わば「オレンジリボンのラブレター」を綴り合う機会となっているように感じました。



オレンジリボンツリーの飾りつけに参加してくれたみなさん、
ご協力ありがとうございました。

また、同期間中はオレンジリボン運動の一環として、オレンジリボンのバッジや啓発資料の無料配布等を行いました。早速、バッジをつけて「おそろいだね♪」と職員に話しかけてくれた子がいましたよ～。

今後も当館は「子どもファースト」を合言葉に、児童福祉施設としても、引き続きその役割を果たしていきたいと考えていますので、子ども虐待のない社会を一緒に実現していきましょう。

ぐんまこどもの夢大賞

第31回

入選作品

「ぐんまこどもの夢大賞」は、児童文化の振興を図る目的で、群馬県と当児童会館の運営主体である公益財団法人群馬県児童健全育成事業団の共催で行っています。今年度もコロナ禍の中ではありますが、31回目を迎えることができました。

今年度は絵画部門で6,926点、童話部門は456点と特に多くの応募をいただきました。いずれも子どもたちの豊かな感性と、力強い思いが伝わってくる素晴らしい作品でした。

審査の結果、絵画は最優秀賞3点、金賞13点、銀賞23点、銅賞35点、奨励賞68点が、童話は最優秀賞1点、金賞2点、銀賞4点、銅賞6点、奨励賞5点が入賞しました。

ここでは、最優秀賞を受賞したみなさんの作品とインタビューを紹介します。



インタビュー内容

- ① 受賞を知ったときの気持ち
- ② 制作時間
- ③ どうしてこの作品をかこうと思ったか
- ④ 次は何をかきたい?
- ⑤ 将来の夢
- ⑥ 保護者のことは

絵画

最優秀賞



伊勢崎市立赤堀南小学校(2年)

まつばら むつみ

松原 睦さん

「たのしい運転手」



- ① やったぁ!と思いました。
- ② 1~2時間で描きました。大好きな電車の絵はよく描いていて、迷いなく描けます。
- ③ 電車が大好きだからです。昨日も近所の駅に電車を見に行っていて、保育園児の頃は保育園帰りに毎日お母さんと一緒に電車を見に行っていました。一番好きなのは両毛線です。

- ④ 次回も電車を描きたいです。実は昨年も電車を描いて夢大賞に応募していました。
- ⑤ 電車の運転手になりたいです。
- ⑥ 1歳の頃から今も変わらず電車が大好きで、その気持ちがたくさん詰まった絵がこのような賞を頂けて嬉しいです。これからも“好き”を大切に、夢を叶えてくれたらと思います。

最優秀賞



伊勢崎市立殖蓮第二小学校
(6年)

うえの さゆき
上野 紗幸 さん

「パティシエになったら」



- ①自分が受賞できると思わなかったのですごくうれしかったしびっくりしました。
- ②2ヶ月かけて少しずつ作りました。
大きなケーキと小さいケーキを描くのが楽しかったです。
- ③一年生のときにパティシエの絵を描き賞がとれなかったのもう一度リベンジしたいと思ったからです。
- ④かわいい女の子の絵やイルカに乗って海を泳ぐ絵が描きたいです。
- ⑤みんなを笑顔にできるパティシエです。
- ⑥最初は、最優秀賞がどれくらいすごいのかと聞いてくるほど分かっていなかったのですが、まわりの方からの声でだんだん実感していったようです。好きな絵で賞がいただけ、本人も家族もとてもうれしいです。おめでとう！

最優秀賞



ジェンテ・ミウダ(中学2年)

アビダラ ベアトリス サユリ ハヤシ さん

「シェフ」



- ①受賞できてとてもうれしかったです。
- ②はっきり覚えていませんが、6日間かかりました。
- ③将来なりたい自分のことを考えて描きました。
- ④私はアニメと風景を描くのがとても好きなので、次はそういう作品に挑戦してみたいです。絵を

- 描くことで自分を表現できるので、他にもコンテストがあれば参加したいです。
- ⑤韓国でアーティストになるか、料理人を目指したいです。
- ⑥一生懸命やっていたので受賞できて良かったです。とても誇りに思います。

童話



最優秀賞



伊勢崎市立宮郷第二小学校(2年)

あらい さつき
新井 彩月 さん

- ①とても嬉しかったです。初めに聞いたときは、自分が最優秀賞を取れないと思っていたのでびっくりしました。
- ②1週間くらいかかりました。
- ③1年生の時にもお話を書きました。それを学校の図書室に置いてもらったり、読み聞かせで使ってもらったりして、家族や友達がみんな楽しんでくれたので、また読んでもらいたいと思って続きを書きました。内容は、お姉ちゃんが夏休みの宿題で染めをしていたので、それを参考にしました。
- ④このお話の続きを書きたいです。
- ⑤小学校の先生になりたいです。
- ⑥頑張って書いた作品で素晴らしい賞をいただけてとても嬉しいです。お姉ちゃんも銀賞をもらったので、姉妹で受賞できてよかったです。これからたくさん本を読んで、素敵なお話を書いてほしいと思います。

「ポカポカの森」

「今日も雪かぁ。毎日よくふるわねえ。」

みけねこさんは、お店のまどから外を見て、ハアとためいきをつきました。

みけねこさんは、いろいろどうぶつたちがくらす森でアイスクリームやさんをやっています。

今年は、何日も雪がふりつづき、森はあたりーめんぎんせかいになってしまいました。

「これじゃあ、今日もまたおきゃくさんはこないだろうな。」

雪がめったにふらないこの森では、あまりのさむさでみんなが家にこもったきりになり、買いものに出てこなくなってしまったのです。

それでもと、みけねこさんはアイスクリームをじゅんびして、お店の前の雪かきをしていました。ザクザクと足音が聞こえてきました。かおを上げるとひつじさんでした。

「こんにちは、ひつじさん。毎日よくふりますね。」

「本当にね。わたしなんてこんなにモコモコしているのに、さむすぎてぼうしとマフラーと手ぶくろをしてやっと、外に出られたのよ。」

と言うひつじさんを見ると、とてもあたたかそうで、かわいいもようがあみこまれているものでした。

「あったかそうで、すごくかわいいね。それってもしかして？」

「そう！夏になる前にかった自分の毛をそめて、つむいで糸にして、あんだのよ。」

「すごい、すてき！そめるってどうやってするの？」

「家にあるやさいや、くだものでそめるんだよ。」

「えっ？やさいやくだものでできるの？わたしにもできるかな？」

「うん。できるよ。教えてあげるから、こんどわたしの家においでよ。」

「ありがとう。わたしのお店にあるくだものをもっていくね。」

と、二人はやくそくをしました。

やくそくの日、みけねこさんはお店でつかい切れずにのこっていたブルーベリーをもってひつじさんの家へ行きました。

「こんにちは。今日はよろしくおねがいします。ブルーベリーをもってきたんだけど、だいじょうぶかな？」

「いらっしゃい。ブルーベリーいいね。じゃあ、さっそくやろうか。」

と、ひつじさんがとなりのへやから毛をもってきました。へやをのぞくと、ひつじさんの毛で、ひとへやいっぱいになっていました。

「すごいりょうだね。」

「そうなんだよ。毎年からなくちゃだからどんどんふえて、へやがいっぱいになってこまってるんだよね。さ、はじめましょ。」

大きななべに水を入れて、火にかけました。そこに、みけねこさんがもってきたブルーベリーを入れてしばらくにると、ブルーベリーのいいかおりがきて、なべの中にきれいなむらさき色のおゆができてあがりました。

「おりょうりしてるみたいで楽しいな。ブルーベリーアイスよりきれいな色がでるんだね。」

「はい、ここに毛を入れて、しばらくまってね。」

おゆがさめたころ取り出すと、きれいなむらさき色にそまっていた。

「ブルーベリーそのままの色できれいだね。これをどうやって糸にするの？」

「かわかしてから、これをつむいで糸にするんだよ。」

と、ひつじさんは大きな糸車をはこんできました。かわいた毛をすこしずつ取って糸車にかけて、ひつじさんが糸車をキーカラカラキークルクルとまわしは

じめると、どんどん毛糸ができてきました。
「こうやって毛糸になるんだね。ひつじさん上手だなあ。」

と、ひつじさんが毛糸をつむいでいるのを見ていると、みけねこさんはいいアイデアを思いつきました。
「ねえ、ひつじさん、じつはこの大雪でお店におきやくさんがこなくて、ざいりょうがあまってこまってるんだ。ひつじさんのいっぱいある毛をいろいろな色にそめて、毛糸にして森のみんなに何かをあんであげるってどうかな？」
「そのアイデアさいこうだね！セーターとかマフラーとかあればみんな外に出てこられるようになるもんね。」

つぎの日から二人は、毛糸作りをはじめました。大きなべにーしゅるいずつくだものや、やさいをにてつぎつぎとそめていきました。ブルーベリーのむらさき、いちごはやさしいピンク色、みかんはそのままきれいなみかん色になりました。ぶどうをにてみると、ぶどう色になるかと思ったら、グレーになってみけねこさんはおどろきました。玉ねぎは外がわのうすかわだけをつかったら、あたたかい黄色になりました。なすのかわをにてみると、これもグレーになってしまいました。

「ぶどうと同じような色になっちゃったね。ちがう色がよかったな。」

と、みけねこさんがざんねんそうに言うと、
「ぶどうはまだのこっていたよね。それと、レモンはある？」

と、ひつじさん。みけねこさんは言われるがままにもうどぶどうをにはじめました。

「ひつじさん、さっきと同じ色だよ。これでいいの？」
ふあんそうなみけねこさんに、ひつじさんが
「まほうを見せてあげるよ。」

と、レモンのしぼりじるを入れると、グレーだったおゆがパッとあざやかなピンク色になりました。
「えっ？なんで？どんなまほうをつかったの？」
みけねこさんは、びっくりして目をまん丸にしてなべをのぞきこみました。

「おばあちゃんに教えてもらったんだ。」
ひつじさんはちょっととくいげなかおでこたえました。

ぜんぶそめ終えて、二人はキーカラカラキークルクルと、どんどんつむいでいきます。
「一つの色もいいけど、マーブルの毛糸はどうかかな？」
ひつじさんが言いました。
「それ、すてきだね。」

みけねこさんがいくつか色をまぜてひつじさんにわたすとキーカラカラキークルクルと糸車をまわしていくと、何色もまざりあったきれいな毛糸ができあがりま

した。
二人は森のみんなのかおを思いうかべながら、何日もせっせせせとあみしました。

「できたー！！」
そこには、いろいろなもようや色、大きいサイズ、小さいサイズのセーターやマフラー、ぼうしや手ぶくろができあがりしました。

「早くみんなにわたしたいね。よろこんでくれるかな？ドキドキするね。」

みけねこさんがまどから外を見ると雪はやっとやんだようですが、かなりつもっていました。そんな中に森のみんながあつまっていました。

「みんな、こんなにさむいのにどうしたの？」
「みけねこさんとひつじさんがみんなのためにセーターやぼうしを作ってくれているって聞いたからきてみたんだ。」

「今、ちょうどできあがったところだよ。くまさんやうしさんの大きいサイズはあっち、うさぎさんやりすさんの小さいサイズはこっちだよ。」

と、みんなをお店へまねき入れました。

「わあ！すてきな色！」
「あたたかそうだねえ。」
「ぼく、こんなのほしかったんだ。」

と、みんなが手に取ってよろこんでくれました。ねずみさん親子がまよっているのが見えたので、みけねこさんが声をかけました。

「ねずみさんと子ねずみちゃんにこれはどうかな？」
セーターとぼうしを見せました。

「お母さんとおそろいだよ！かわいいね。これをきてお出かけしようよ。」

子ねずみちゃんはピョンピョンとびはねて大よろこびしています。

森のみんなが、それぞれ気に入ったものを身につけて外に出てみました。

「セーターがモコモコだからさむくないね。」
「耳まであんでくれてあるから、このぼうしがあれば外に出られるわ。」

と、みんなひさしぶりに外を楽しんでいるようでした。
「みけねこさん、ひつじさんありがとう。体も心もあたたかくなりました。」

みんなからのうれしいの言ばを聞いて二人も心がポカポカしてきました。

まっ白だった森に色とりどりの毛糸の花がさいて、ひと足早く春がきたようでした。



秋の特別企画

「アスレチックあそベンチャー！」の報告

「みらい ある こどもたちよ、こころゆくまで あそベンチャー！」

当館ホールに出現した空中アスレチックコースと巨大スライダーの様子が子どもたちに呼びかけているようです。その声に応えるかのごとく、次から次へとチャレンジする子どもたち。10月22日(土)から30日(日)まで開催した本企画には、約4,000名の利用がありました。連日小さな冒険者たちが真剣な眼差しで、苦戦しながらも、一步一步「くもの巣ネット」を進んでいく背中、歓声をあげながらスライダーに身をまかせる子どものはじける笑顔、そんな瞬間にたくさん立ち会うことができたのは、私たちにとっても大きな喜びです。

コロナ禍で子どもの体力低下が心配されていますが、全身をつかって思い切り遊ぶ中で、健やかな体と心を育てほしい、当館の職員一同そのように願っていますので、また是非遊びに来てくださいね♪



熟睡プラ寝たりウム2022

～プラネタリウムで グランピング気分♪～開催

毎年、勤労感謝の日付近で実施している熟睡プラ寝たりウムも、当館での開催は今年で9年目。今回は世界的に大流行している「グランピング」をテーマにしました。シアター内に設置したハンモックの体験などをした後、世界中の風景と星空をドームシアターで投影しました。

星のソムリエ「かめちゃん」のナレーションが流れる中、世界の絶景が目の前に広がります。それぞれの土地で見られる星空は、同じ星の並びでも少し不思議。特に小さな南十字星から広がる南半球の夜空には、当日参加してくれた子ども達が見たことがない星座でいっぱいでした。

この日は1日中雨が降っていた中、74名もの方にご参加いただくことができました。参加いただいた方々からは「楽しかったです」、「癒やされました」などのお言葉をいただきました。



当館ホームページはこちら

当館の最新情報を掲載しています。
ご来館前にぜひご覧ください。



どんどんクラブ和太鼓演奏会

～一緒に和太鼓を体験しよう～

12月3日(土)、当館多目的ホールで「障がい児者と太鼓の会どんどんクラブ」の演奏会が行われました。今回は入場の際に、観覧者には大人も子どももタンバリンやカスタネット・鈴などが配られました。こ、これは、なにが楽しそうな予感？！

まず始めは肩慣らしで、どんどんクラブの太鼓と客席のみんなの楽器でリズムをとる練習です。指導者の田淵さんが音頭をとり全員が続きます。場内の音が一体となり気持ちに乗ったところで、どんどんクラブの力強い演奏が始まりました。「悟空」「風神」「和になって！」の演目はどれも大きな音で心臓まで響いてきました。続いて観覧者の中から希望する子ども達が和太鼓演奏に挑戦。田淵さんの太鼓に合わせて一緒に太鼓をたたき3曲も演奏しました。和太鼓のリズムは人を結びつける力があるのですね。最後に全ての楽器で3・3・7拍子。大きな拍手で演奏会は終了しました。



群馬県児童館連絡協議会より

～JA共済連群馬様より 今年も寄付金をいただきました～

平成28年度よりJA共済連群馬様から群馬県児童館連絡協議会の会員65館へ、地域貢献活動の一環として図書購入費用の寄付金をいただいています。

子ども達の生活では、徐々にふれあいながらの遊びが復活しつつありますが、コロナ禍の影響によりまだコロナ禍前の状況に戻ってはおりません。そのような状況下の中、優良な絵本や児童書の世界に触れることは、児童館での過ごし方のひとつとしてだけでなく、その世界で繰り広げられるお話に引き込まれることで、不足がちな心の栄養を補充しているともいえます。

未来ある子ども達への多大なる温かいご支援、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。



にこっと通信バックナンバーはこちら

開館当初からの「ニュース」や「通信」のバックナンバーがご覧いただけます。

